

ハイブリッド型業務支援システム

ネグジット総研「調剤くんV8」

ネグジット総研が30年以上の経験と実績を誇るレセコンメーカーとしての矜持と技術を注ぎ込んで開発した調剤くんブランド第8世代となる「調剤くんV8」。これまでの使いやすさへのこだわりはそのままに、業務効率化を後押しするオプションを多数搭載。電子薬歴をクラウド化したハイブリッド形式を採用し、薬局の外に活動の場が広がっている薬剤師業務に即した機能を搭載したシステムになっている。

調剤くんV8のレセコン部分は、これまでのシリーズコンセプトである「マニュアルいらず」を体現した画面構成で、誰もが直感的で容易な操作を実現。ボタンの配置や大きさ、入力者ごとに選べる文字サイズ、ファンクションキー対応操作画面など多様なニーズに対応。圧倒的な使いやすさを追求している。

電子薬歴部分は、従来のオンプレミ

ス版と新たなクラウド版の選択式。クラウド版は、在宅訪問等の外出先や薬局間での患者情報共有が容易にでき、電子薬歴の基本機能に加え、充実した入力支援機能で効率的かつスピーディーな入力を実現した。表示レイアウトを個人ごとにカスタマイズできる特徴的な機能も有する。

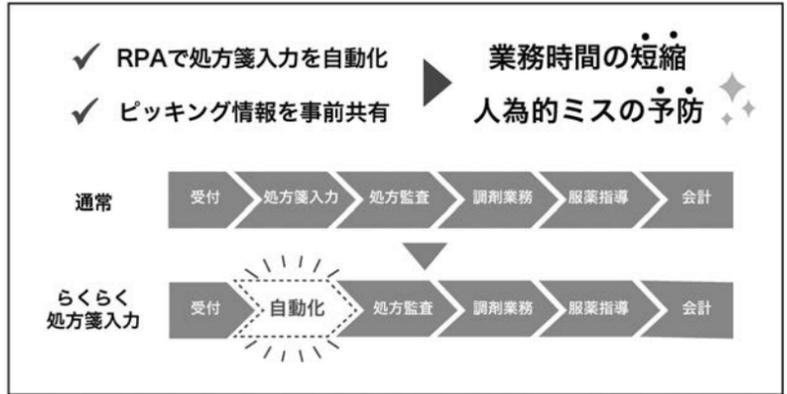
また、ペーパーレス化をサポートするために、問診票などの局内保管帳票をシステム内で一元管理。通信は安心のセキュリティ対策を施したVPN通信で、生体認証ログインなど複数の安全装置を施すことで個人情報漏洩対策は万全を期している。

これらの充実したレセコン・電子薬歴の機能に加え、最新テクノロジーを用いた業務効率化に役立つオプション機能も充実している。今年7月に「本部入力システム」、今月には「らくらく処方箋入力」を新たにリリース。

「らくらく処方箋入力」はRPAを活用して処方箋情報をレセコンに自動入力するオプションサービス。QR付きの処方箋をスキャナーまたはQRリーダーで読み取り、一般名を薬局内の採用薬品名に変換しレセコンへのデータ入力をすべて自動で実現。受付から印刷までの作業を限りなく無人化へと近づける。処方箋読み込みからレセコン入力完了まで1患者あたりわずか20～30秒で完了する。同時に出力されるPDFデータを用いて、処方入力待ちを待たずに、先服薬指導やピッキング

作業を始めることができる。医薬品の在庫の「あり」や「なし」のケース時にもデータ出力時に採用薬の変更も可能。変更後のデータを出力することができる。

「本部入力システム」は多店舗運営の薬局の処方箋入力業務を本部にて遠隔作業で入力できるオプションサービス。夜間や休日診療などの人員割り振り時の悩みの声を受け開発。人員不足解消や患者との対話時間増が期待できる機能で、働き方改革を推進する強力な武器となっている。



話題の調剤支援システム

関連記事18～22ページ

自動入庫払出薬局ロボット

日本ベクトン・ディッキンソン「BD Rowaシステム」

日本ベクトン・ディッキンソン（日本BD）が提供する最先端のロボット技術で薬局をサポートする「BD Rowaシステム」。2015年に厚生労働省が示した「患者のための薬局ビジョン」では、対人業務の重要性が明記された。その後、薬剤師は調剤薬ピッキングなどの対物業務から、患者への服薬指導対応といった対人業務へのシフトが進められている。そうした中で同システムは全国100軒以上の薬局で導入され、調剤業務の効率化にも貢献している。

「BD Rowaシステム」開発のきっかけは25年以上前に遡る。ドイツの自動車整備工場のエンジニアだったRolf Wagner氏が、電車内で出会った薬剤

師から「薬のピッキングや在庫管理に時間を取られて、ゆっくり患者と話をする余裕がない」との悩みを聞き、調剤ロボットのアイデアを思い付き、完成させたのが始まり。現在、世界53カ国で合計1万5000台以上が導入され信頼性も確立されている。Rowaは、開発者Rolf Wagner氏の頭文字から取って名付けられた。

自動で医薬品入庫と払い出しを行う薬局ロボットの「BD Rowaシステム」は、調剤室の広さや処方箋応需枚数、採用品目などの情報からその薬局に最適設定のカスタマイズが可能。3500箱を超える大量の薬剤が収納できるため、従来使用していた薬剤棚も不要。ロボットによる正確で素早いピッキン

グ作業により、調剤のピークタイムも安心で、非薬剤師でも業務が行える。

処方箋に記載された薬剤情報を受信後、ロボットアームが棚に並ぶ薬剤をピックアップし複数の薬剤を自動的に払い出しするため、取り違えによるミスを低減。また入庫時に医薬品個装に表示されたGS1コードを読み取ることで、医薬品の有効期限や残数管理が可能となるため、廃棄コストの削減や棚卸作業の負担軽減なども期待できる。

同システムでは調剤薬局で取り扱う医療用医薬品について在庫の大部分の管理を一手に担えることも特徴の一つ。医療用医薬品等の入庫、ピッキング、在庫管理、陳列等の業務を省力化できることで、薬剤師は患者対応など付加価値の高い業務へのシフトを可能にしている。

国内で同システムを導入した薬局では、「作業効率が向上したことで、患者の薬局での待ち時間の短縮にもつな



がった」「類似名称の薬剤の取り間違えがないため鑑査の負担も軽減され、調剤ミスが起りにくい」などの声が寄せられている。最近では、業務全般の自動化ニーズへの対応や薬剤を取り間違えない精度の高さなどが評価され、病院薬剤部でも導入が決定されるなど、活用の場を広げている。

第57回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)

<p>日東メディック株式会社</p> <p>代表取締役社長 中井龍</p> <p>〒939-2366 富山県富山市八尾町保内一四一</p> <p>電話 〇七六(四五五)三四五一</p>	<p>寿製薬株式会社</p> <p>代表取締役社長 富山泰</p> <p>〒389-0697 長野県埴科郡坂城町大字上五明字東川原一九八</p> <p>電話 〇二六八(八二)二二一一</p>	<p>ニラロ株式会社</p> <p>代表取締役社長 佐野嘉彦</p> <p>〒566-8510 大阪府摂津市千里丘新町三番二六号</p>	<p>久光製薬株式会社</p> <p>代表取締役社長 中富一榮</p> <p>九州本社 〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地 東京本社 〒100-1633 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号</p>	<p>ゼリア新薬工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 伊部充弘</p> <p>〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町一〇一</p> <p>電話 〇三(三六六三)二三五一(代表)</p>	<p>Otsuka</p> <p>大塚製薬株式会社</p> <p>代表取締役社長 宮本 充</p> <p>〒108-8242 東京都港区港南二一六一四</p> <p>電話 〇三(六七七一)一四〇〇(代表)</p>	<p>KPIA</p> <p>関西医薬品協会</p> <p>会長 宮本 充</p> <p>〒541-0044 大阪市中央区伏見町二一四一六</p> <p>電話 〇六(六二二二)九一九一</p>	<p>日本薬科機器協会</p> <p>会長 酒井哲嗣</p> <p>〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二一二一五</p> <p>電話 〇三(三四〇七)八八三一(代表)</p>
---	--	---	--	---	--	--	---

当ファイルの著作権は(株)薬事日報社またはコンテンツ提供者に帰属します。当ファイル(印刷物含む)の利用は私的利用の範囲内に限られ、それ以外の無断複製・無断転載・無断引用はご遠慮ください。当ファイル(印刷物含む)を社内資料、営業資料などでご利用される場合はご相談ください。